

## 三重県の職業能力開発に係る事業の実施状況及び方向性について

令和8年1月27日  
雇用経済部雇用対策課

### (県の政策)

近年、生産年齢人口の減少、デジタル技術の発展など、労働者を取り巻く環境が大きく変化していくなかで、労働者の職業能力の開発・向上に対する支援の必要性が年々増すとともに、そのニーズは多様化しています。厚生労働省が策定した第11次職業能力開発基本計画(令和3年度～令和7年度)では、今後の方向性として、「1. 産業構造・社会環境の変化を踏まえた職業能力開発の推進」「2. 労働者の自律的・主体的なキャリア形成の推進」「3. 労働市場インフラの強化」「4. 全員参加型社会の実現に向けた職業能力開発の推進」が掲げられています。

国の方針をふまえつつ、三重県が実施する職業能力開発に関する事業は、「みえ元気プラン」※に基づいて進めています。具体的には、「政策8 人材の育成・確保」として労働政策のなかで進めるなどを基本としながら、キャリア形成に関しては早期の取組が必要であることから「政策4 教育」として教育委員会事務局が主体となって進めるなど、取組の性質に応じた体系を整えながらも、取組の効果を高められるよう関係部局、関係機関と連携して取り組んでいるところです。

※令和4年10月、今後の県政運営にかかる長期構想である「強じんな美し国ビジョンみえ」の策定と併せ、令和8年度までの中期計画としてまとめたもの

### (主な政策における各事業の実施状況と次年度に向けた取組方向)

#### 政策8 人材の育成・確保

##### ■ 令和7年度の取組状況

###### (1) 職業訓練

○地域産業の担い手となる人材を育成するため、津高等技術学校において、学卒者等を対象に、デジタル化やものづくり技術の高度化に対応できる人材を養成する職業訓練を実施しています。(表1)

表 1-1:三重県立津高等技術学校 普通課程・短期課程 入校者／定員（令和7年11月末時点）

	科 名	入校者／定員 (人)	定員充足 率	訓練期間
普通課程  (学 萃 者 対 象)	自動車技術科	14/20	70%	2年間
	ICT エンジニア科	9/10	90%	
	産業技術科	6/30	20%	1年間
	産業技術専攻科	5/30	17%	
	計	34/90	38%	
短期課程  (離 転 職 者 対 象)	ホームコーディング科 前期	3/10	55%	5か月
	パソコンCAD科 前期	4/10		6か月
	オフィスビジネス科 前期	15/15		6か月
	金属成形科(外国人対象) 前期	7/10		6か月
	マルチスキルワーク科 前期	0/8		5か月
	OA事務科(障がい者対象) 前期	3/10		6か月
	自動車板金・塗装科 前期	3/5		5か月
	アーキデザイン科	8/10		1年間
	小計	43/78※		
	住宅サービス科 後期	5/10	47%	5か月
	パソコンCAD科 後期	6/10		6か月
	金属成形科(外国人対象) 後期	4/10		6か月
	マルチスキルワーク科 後期	0/8		5か月
	OA事務科(障がい者対象) 後期	5/10		6か月
	自動車板金・塗装科 後期	5/5		5か月
	小計	25/53※		
	計	68/131	52%	

※受託者を除く(受託者:9名)

表 1-2:三重県立津高等技術学校 修了者と就職率の推移  
普通課程

科名	R2	R3	R4	R5	R6
機械制御システム科 (R5 年度募集終了)	8人 100%	11人 100%	10人 100%	6人 100%	4人 100%
電子制御情報科 (R5 年度募集終了)	6人 100%	6人 66.7%	10人 100%	12人 100%	12人 100%
自動車技術科	18人 100%	19人 100%	17人 100%	16人 100%	13人 100%
メタルクラフト科 (R5 年度募集終了)	5人 80.0%	8人 100%	3人 100%	6人 100%	4人 100%
産業技術科	—	—	—	—	6人 100%

短期課程(現在実施している科のみ) 修了者と就職率の推移(受託者は除く)

科名	R2	R3	R4	R5	R6
ホームコーデ科	—	26人 59.3%	10人 50.0%	5人 60.0%	6人 83%
住宅サービス科	10人 60%	9人 77.8%	17人 35.3%	8人 62.5%	5人 100%
パソコン CAD 科	18人 63.2%	16人 64.7%	17人 70.6%	12人 75.0%	10人 30%
オフィスビジネス科	25人 81.5%	27人 86.7%	23人 64.0%	23人 52.2%	21人 86%
金属成形科(外国人対象)	17人 66.7%	7人 57.1%	9人 77.8%	14人 85.7%	10人 100%
マルチスキルワーク科	—	—	1人 100%	7人 57.1%	4人 50%
自動車板金・塗装科	—	—	—	—	5人 80%
OA 事務科(障がい者対象)	4人 50.0%	4人 25.0%	3人 75.0%	10人 60.0%	5人 60%
アーキデザイン科	—	—	—	人 %	9人 44%

県内企業による技術者の技術向上を図るための在職者訓練(受講者数233人:11月末現在)を実施しています。

○離転職者等を対象に県内の専修学校等の民間教育訓練機関に委託して、デジタル、介護、保育等の分野に関する職業訓練を実施しています。(表2)

表2-1:委託訓練 入校者／定員 (長期以外は令和7年11月末までに開講したコースのみ)

	科名・分野	入校者／定員(人)	定員充足率	訓練期間
長期高度人材育成コース	介護福祉士養成科	13/25	63.3%	2年間
	保育士養成科	18/27		
	製菓衛生師養成科	2/3		1年間
	調理師養成科	5/5		
	小計	38/60		
知識等習得コース	パソコン事務分野	198/245	74.4%	3か月
	医療事務分野	31/45		
	介護分野	31/60		
	デジタル分野	45/60		
	小計	305/410		
定住外国人向け職業訓練コース		中止	—	3か月
合計		343/470	73.0%	

表 2-2:委託訓練 修了者と就職率の推移

	科名・分野	R2	R3	R4	R5	R6
長期高度人材育成コース	介護福祉士養成科	12人 100%	16人 87.5%	13人 100%	14人 92.9%	18人 88.9%
	保育士養成科	5人 80%	10人 90.0%	8人 87.5%	12人 91.7%	17人 88.2%
	栄養士養成科	5人 80%	5人 100%	3人 100%	3人 100%	5人 80.0%
	製菓衛生師養成科					3人 100%
知識等習得コース	パソコン事務分野	269人 73.1%	243人 78.7%	270人 72.7%	279人 74.7%	254人 77.9%
	医療事務分野	61人 75.3%	60人 86.7%	46人 77.1%	51人 84.3%	24人 84.6%
	介護分野	103人 94.1%	76人 90.9%	61人 95.1%	43人 95.3%	50人 96.2%

	デジタル分野	39人 69.0%	55人 58.2%	53人 53.7%	82人 44.0%	80人 52.4%
	定住外国人向け 職業訓練コース	—	—	4人 80.0%	3人 100%	中止

※訓練を中止したコースの定員は除く

○障がい者の多様なニーズに応じて、地域の事業所等でも職業訓練を行っています。

	受講者数	就職率
障がい者委託訓練(R6)	26名	95.8%

○津高等技術学校については、老朽化の進行等により将来的に建て替えが必要となることから、同じく建て替えを予定している本県の公設試験研究機関「三重県工業研究所」と一体的に整備することについて、今年度より、雇用経済部内に工業研究所・津高等技術学校一体整備プロジェクトチームを創設して検討を進めています。

## (2) 技能振興

- ・労働者の技能と地位の向上を図り、産業の発展に寄与するため、職業能力開発促進法に基づく技能検定を実施しています。(表 3)
- ・技能士に対して、優秀技能者の表彰を行っています。また、熟練技能士によるスキルアップ講習を行っています。
- ・技術系高校において、企業の協力のもと実習を実施しています。また、子どもたちのものづくりへの関心を高める体験講座を実施しています。

表 3-1:技能検定試験の受検者数の推移

		R2*	R3	R4	R5	R6	R7 (見込)
定期 試験	特級	194	224	215	182	152	152
	1級	201	544	619	644	684	709
	2級	215	863	829	953	866	826
	3級	250	425	334	294	204	211
	単一等級	0	12	7	6	6	11
定期試験合計		860	2,068	2,004	2,079	1,912	1,909
随時 試験	2級	—	32	85	409	229	194
	3級	2,542	3,249	1,503	850	2,033	1,934
	基礎級	2,479	1,131	1,837	2,430	2,487	2,130

随時試験合計	5,021	4,412	3,425	3,689	4,749	4,258
定期+随時合計	5,881	6,480	5,429	5,768	6,661	6,167

※令和2年度については新型コロナの影響で前期試験が中止されています。

表 3-2:外国人技能実習生向け技能検定試験の公示状況

試験級	職種・作業数	受検見込数(R7)
随時2級	31職種45作業	194人
随時3級	53職種86作業	1,934人
基礎級	53職種86作業	2,130人

### (3) 多様な人材の能力発揮支援

- 就職氷河期世代等専用相談窓口「マイチャレ三重」の利用促進に向けて、多様なチャネルを活用しながら就労支援情報を発信するとともに、三重労働局など関係機関と連携しながら、相談から就職・定着まで切れ目ない支援に取り組んでいます(相談件数376件:11月末現在)
- 女性の非正規雇用者の正規雇用化を促進するため、スキルアップ研修や、正規雇用化した女性の成功事例等を紹介する県内企業向けセミナーを開催するとともに、多様な事情を抱える女性に対して、女性専用相談窓口での対応を行っています。
- 障がい者雇用に対する企業や県民の理解を促進するため、イベント開催などを通じて、障がい者と共に働く企業などの取組について広く周知しています。
- 働く意欲のあるすべての障がい者が自らの能力や適性を生かし、希望に応じて働くことができるよう、短時間雇用やテレワーク就労など多様で柔軟な働き方を推進しています。

## ■ 令和8年度に向けた取組方向

### (1) 人材の育成・確保支援

- 地域産業の担い手となる人材を育成するため、津高等技術学校において、学卒者等を対象に、デジタル化やものづくり技術の高度化に対応できる人材を養成する職業訓練を実施します。
- 離転職者や在職者を対象とした職業訓練の実施により、早期就職の支援や技術者の技術向上等を図るとともに、民間の職業能力開発校への支援等を行うことにより、企業や労働者のスキル・キャリアアップの機会を確保します。
- 津高等技術学校について、三重県工業研究所との一体整備における要件等を整理した建替え再整備基本計画に基づき、施設の基本・実施設計を行うとともに、建替え再整備に向けた各種調査等を実施します。

### スケジュール(予定)

- 令和7年度中 設計発注
- 令和8年度 基本設計
- 令和8～9年度 実施設計
- 令和10年度 工業研究所本所・連携の総合拠点(仮称) 着工
- 令和13年度 津高等技術学校 着工

### (2) 多様な人材の就労支援

- ・ 就職氷河期世代等専用相談窓口「マイチャレ三重」の利用促進に向けて、多様なチャネルを活用しながら就労支援情報を発信するとともに、三重労働局など関係機関と連携しながら、相談から就職・定着まで切れ目ない支援に取り組みます。
- ・ 女性の非正規雇用者の正規雇用化を促進するため、スキルアップ研修や、正規雇用化した女性の成功事例等を紹介する県内企業向けセミナーを開催するとともに、多様な事情を抱える女性に対して、女性専用相談窓口での対応を行います。
- ・ 企業訪問や障がい者委託訓練の実施などにより、雇用拡大に一層取り組むとともに、障がい者雇用に課題のある企業に対して、障がい者の業務の切り出し支援や受け入れ環境整備などについて、専門家が助言を行うなど伴走支援に取り組みます。また、障がい者雇用に対する企業や県民の理解を促進するため、イベント開催などを通じて、障がい者と共に働く企業などの取組について広く周知します。

## 政策 14 教育（職業能力開発関連部分）

### ■ 令和7年度の取組状況

#### (1) 県立学校におけるキャリア教育

- ・ すべての高等学校において、キャリア教育の各取組を体系的にまとめたキャリア教育全体計画を策定し、高校生が働くことの意義を理解し、社会的・職業的自立に必要な資質を身につけられるよう、発達段階に応じたキャリア教育を進めています。地域の職業人を招へいした出前授業、企業でのインターンシップやデュアルシステムなど、実社会とつながった学びを進めています。
- ・ 創造力や表現力、協働する力などの資質・能力を育成するため、各校では生徒の実態等を踏まえ、STEAM(※)学習や課題解決型学習等の探究的な学習に取り組んでいます。
- ・ 起業家や研究者等との交流、高い志を持つ若者同士のディスカッションを通じてリーダーを育成する「志を持ち可能性に挑戦するリーダー育成事業」を実施しています。
- ・ 福祉教育の充実や福祉・介護の人材育成のため、国のマイスター・ハイスクール普

及促進事業を福祉系高校4校で実施しています。福祉関係団体等と連携した専門的な学習に4校で取り組んでいます。

- ・ 県立高校生が県内の企業を訪問し、先端技術の見学や体験、経営者の方からの講演、他校生とディスカッションを行う「未来のスペシャリスト育成プログラム」を実施しました。
- ・ 情報、理数教育を重視するカリキュラムやICTを活用した文理横断的・探究的な学びに取り組むDXハイスクール事業を18校で実施しています。また、職業学科において、プログラミングやAI、ARなどデジタル技術を活用し、実社会の課題解決につながる学習プログラムの研究・開発に取り組んでいます。
- ・ 生成AIの学校現場での活用にかかる知見を蓄積するため、高校3校で生成AIの利活用に係る実証検証に取り組んでいます。
- ・ 特別支援学校において、清掃技能検定、看護・介助業務補助技能検定など、企業、関係機関等と連携した技能検定を実施しています。
- ・ 特別支援学校高等部生徒の進路希望を実現し、地域生活へ円滑に移行できるよう、計画的・組織的なキャリア教育と職場開拓を進めています。テレワーク支援員を配置し、ICTを活用した在宅就労など、新しい働き方や技能に対応した就労先の開拓や就職支援を進めています。

※ 科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、リベラルアーツ・教養(Art)、数学(Mathematics)等の学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育。

## ■ 令和8年度に向けた取組方向

### (1) 県立学校におけるキャリア教育等

- ・ 子どもたちが学ぶことと自己とのつながりを見通しながら学び、進路を決定する力や人間関係を築く力を育むとともに、地域と連携し、魅力ある仕事への理解を深めることができるよう、組織的・計画的なキャリア教育を進めます。職業ポータルサイトを活用した職業研究など、地域の企業を題材としたキャリア教育を進めます。
- ・ 進学希望者が多い普通科で学ぶ生徒が、生徒の地元企業に対する理解を深めるとともに、将来の選択肢として提示するため、学校と企業をつなぐコーディネーターを活用した企業展や職場訪問を実施します。また、地元企業が学校の学習活動を支援する協力体制の構築を図ります。
- ・ 多様な考え方を持つ仲間との学びや教科横断的な学びを行うSTEAM学習、農林水産部等の他部局と連携し、地域産業の課題を題材とした地域課題解決型学習等の探究的な学習を推進します。
- ・ デジタル等成長分野を支える人材を育成するため、DXハイスクール指定校において、情報、理数教育を重視するカリキュラムやICTを活用した文理横断的・探究的な学びを引き続き取り組みます。

- ・福祉系高校において、福祉関係団体等と連携した専門的な実習や学習活動を推進し、福祉教育の充実や福祉・介護の専門人材の育成に引き続き取り組みます。
- ・生成AIの学校現場での活用にかかる知見を蓄積するため、DXハイスクール指定校で引き続き、学術的知見を有する事業者や研究者等と連携し、情報活用能力の一部である「生成AIの仕組みの理解」や「生成AIを学びに生かす力」を段階的に高めます。
- ・特別支援学校高等部生徒の進路希望を実現し、地域生活へ円滑に移行できるよう、計画的・組織的なキャリア教育と職場開拓を進めます。ICTを活用した在宅就労や短時間就労など、新しい働き方や技能に対応した就労先の開拓や就職支援を進めます。